

第一問（40点満点）

■採点の原則

① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文（章）の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。

② 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

問一

■形式上の不備

・文末表現は要素E参照

基準 配点8点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

SNSが可能にした自分の物語の発信は、他人の物語を聞くよりも

B

C

強い快楽を発信者に与え、

D

承認欲求を満たすことにもつながるから。

■採点方法…各要素単独採点

■要素A 「SNSが可能にした自分の物語の発信は」…2点

■要素B 「他人の物語を聞くよりも」…2点

■要素C 「強い快楽を発信者に与え」…2点

■要素D 「承認欲求を満たすことにもつながる」…2点

■要素E…文末表現は「……から。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

基準 配点8点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

排外主義的なポピュリズムの温床となったり、個人を偏狭な価値観に閉じ込めて

C

思考停止に

D

陥らせたりすることで 民主主義を阻害すること。

- 採点方法…各要素単独採点

- 要素A 「排外主義的なポピュリズムの温床となったり」…2点

- 要素B 「個人を偏狭な価値観に閉じ込めて」…2点

- 要素C 「思考停止に陥らせたりする」…2点

- 要素D 「民主主義を阻害する」…2点

- 要素E…文末表現は「……こと。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

基準 配点8点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 閉じたネットワーク上での相互評価のゲームは、その麻薬的な快樂により B 発信自体を目的化 C

D させ、人々をゲーム外の現実から逃避させるから。

■採点方法…各要素単独採点

■要素A 「閉じたネットワーク上での相互評価のゲームは」…2点

■要素B 「その麻薬的な快樂により」…2点

■要素C 「発信自体を目的化させ」…2点

◆要素D 「人々をゲーム外の現実から逃避させる」…2点

■要素E…文末表現は「……から。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

問四

■形式上の不備

- ・ 字数が一〇〇字に満たない場合、加点なし。
- ・ 文末表現は要素E参照

基準 配点13点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A SNSの普及は誰もが自分の物語を発信できる環境をもたらしたが、自分の投稿に他者が共感  
B  
してくれる快樂を知った人々は、閉じたネットワーク上で共感の獲得を競う相互評価のゲーム  
C  
に没入し、その外部に存在する現実を目を向けられなくなっているということ。(一二〇字)  
D

■採点方法…各要素単独採点

■要素A「SNSの普及は誰もが自分の物語を発信できる環境をもたらしたが」…3点

■要素B「自分の投稿に他者が共感してくれる快樂を知った人々は」…3点

■要素C「閉じたネットワーク上で共感の獲得を競う相互評価のゲームに没入し」…3点

■要素D「その外部に存在する現実を目を向けられなくなっている」…4点

■要素E…文末表現は「……こと。」が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

問五 漢字の書き取り 各1点×3

a 陳腐      b 席卷（席捲）      c 糾弾（糺弾）

第二問 (一) 文科イ・理科ア 傍線部を現代語訳せよ。

- 問題 10ページ、第1段落の傍線部 文科イ・理科アを現代語訳する問題。
- 文末表現は、要素Bにあるとおり。
- ・ 句読点の抜けは不問。

■ 基準 配点【3点】

■ 傍線部

**A2** 「内裏へや参らまし」など、**B1** をながむるに、

- 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

**A2** 「宮中へ参上しようか」など、**B1** 物思いに沈んでいるよ、

- 採点方法 各要素単独採点。
- 字数 指定なし。

「ポイント」

**要素A【2点】** 「宮中へ参上しようか」などよ、

**要素B【1点】** 物思いにふけているよ、

◇ 「物思いにふける・ぼんやりする」の意がなければ、**要素B** 加点なし。

※ 「物思いにふける」同意例 ○ ぼんやりする・ぼんやり考える・物思いに沈む

× 思う・考える

第二問 (一) 文科工・理科ウ 傍線部イを現代語訳せよ。

- 問題 10ページ、第1段落の文科工・理科ウを現代語訳する問題。
- ・文末表現は、要素Bにあるとおり。
- ・句読点の扱いは不問。

■ 基準 配点【3点】

■ 傍線部

A1 うつし心も B2 なくなりにければ、

- 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A1 冷静な気持ちも B2 なくなっていましたので、

■ 採点方法 各要素単独採点

■ 字数 指定なし。

「ポイント」

要素A【1点】冷静な気持ちも

要素B【2点】なくなっていましたので、

第二問 (一) 文科才・理工工 傍線部を現代語訳せよ。

- 問題 10ページ、第2段落の傍線部 文科才・理工工を現代語訳する問題。
- 文末表現は、要素Cにあるとおり。
- ・ 句読点の抜けは不問。

■ 基準 配点【3点】

■ 傍線部

A1めでたくB1まめやかなるを、C1何事の心尽くしなるにか

- 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A1立派でB1誠実であるのに、C1何の悩みがあるのだろうか

■ 採点方法 各要素単独採点

■ 字数 指定なし。

「ポイント」

要素A【1点】立派で

要素B【1点】誠実であるのに、

要素C【1点】何の悩みがあるのだろうか

第二問 文科(二)「文科のみ」 「口惜しく」(傍線部ア)とあるが、それはなぜか、説明せよ。

- 問題 10ページ、第1段落の傍線部ア「口惜しく」の理由について、第1段落冒頭から傍線部の直前までの「」例の、中納言殿に語りひて慰めんとおはしたれば、内裏の御宿直に参らせ給ひぬ」と言ふ(＝)「いつものように、中納言殿と話をして心を慰めよう」とお思いになつて、お出かけになつたと、中納言様は宮中の御宿直のために参内なさつてしまつた」と言う(」の内容を踏まえて説明する問題。
- 文末表現は、理由を説明する表現(」から・ので・ため」等)になつていない場合は、**マイナス1点**。
- ・句読点の扱いは不問。

■ 基準 配点【5点】

■ 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

**B1**話をして心を慰めようと訪ねた **A3**中納言が、 **C1**参内中で **(A)**留守だったため。

■ 採点方法 各要素単独採点。**要素B・C**には条件あり。

■ 字数 指定なし。

「ポイント」

**要素A【3点】** 中納言が、留守だったため。

**要素B【1点】** 話をして心を慰めようと訪ねた

**要素C【1点】** 参内中で

第二問 文科(三)・理科(二)

「まことにいみじうもありけるかな」(傍線部 文科ウ・理科イ)とはどういうことか、「いみじう」の内容を明らかにして、説明せよ。

■ 問題 10ページ、第1段落の 文科ウ・理科イの「まことにいみじうもありけるかな(＝本当にたいそう素晴らしいことであったことよ)」「について、傍線部直前の「あえかにつつくしうなまめきたるさま(＝華奢でかわいらしくあでやかな四の君の様子)」「や、「内侍の督と聞こゆとも、限りあれば、これにはいかさまさり給はんとする。すぐれたる名は高けれど、いとかくは思はざりしを(＝内侍の督と申し上げる方でも、その美しさには限度があるから、この四の君にはどうしてまさりなせることができようか。すばらしく美しいと評判は高いけれど、実にこれほどとは思わなかったよ)」を踏まえて説明する問題。

■ ・文末表現は不問。

・句読点の抜けは不問。

■ 基準 配点【5点】

■ 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

**A2** 四の君が、**B3** 内侍の督にも優って、評判以上に **(A)** たいそう美しいというのと。

■ 採点方法 各要素単独採点。要素Bには条件あり。

■ 字数 指定なし。

「ポイント」

要素A【2点】 四の君が、たいそう美しいというのと

要素B【3点】 内侍の督にも優って、評判以上に

第二問 文科(四)「文科のみ」

「あさましとあきれて」(傍線部カ)とは誰のどのような気持ちか、説明せよ。

■ 問題 11ページ、3行目の傍線部カ「あさましとあきれて」について、誰のどのような気持ちかを、10ページ最終行の傍線部直前の「押し開けて、つつまず歩み入り給ふを、人々は、「中納言のおはする」と思ひて、驚かぬに、ふと寄りて、けはひのあらぬに(＝戸を押し開けて、人目も気にせず歩み入りなると、人々は、「中納言様がいらっしゃった」と思つて、驚きもしないので、幸相は四の君にさつと近寄つて、その気配中納言とは違つので)「を踏まえて説明する問題。

■ ・文末表現は、「気持ち・心情」などが望ましいが、心情説明として成立していれば、それら以外の文末表現でもよしとする。  
・句読点の抜けは不問。

■ 基準 配点【5点】

■ 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

**A1** 四の君の、**B2** 近寄つてきた男が中納言でないと気づき、**C2** 驚きあきれぬ気持ち。

■ 採点方法 各要素単独採点

■ 字数 指定なし。

「ポイント」

要素A【1点】 四の君の、ゝ 気持ち。

要素B【2点】 近寄つてきた男が中納言でないと気づき、

要素C【2点】 驚きあきれぬ

第二問 文科(五)・理科(三)

「しらへ給ふ」(傍線部 文科キ・理科オ)とは宰相がどうしたことを言っているのか、説明せよ。

- 問題 11ページ、6行目(本文最末尾)の傍線部 文科キ・理科オ「しらへ給ふ」(Ⅱなだめなさる)「Ⅲについて、どうしたことを言っているのかを、傍線部直前の「しのびやかに泣き給ふけはひなる(Ⅱ)静かにお泣きになる様子である」という四の君の様子や、その四の君に対して宰相が「しふねき心に、逃れぬ御契りはかかる世もありけるぞかし。いかに思すとも、今はかひあるべき事かは(Ⅱ)断ち切ることができない私の恋心のために、逃れようのない私たちの御縁は、このような関係になる時もあったということなのです。どうお思いになっても、今は甲斐があるはずの事でしようか、いえ、何の甲斐ありませんよ」と言っていることを踏まえて説明する問題。

- 文末表現は不問。 ・句読点の抜けは不問。

- 基準 配点【6点】

- 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A2 自分たちは結ばれる B1 運命なのだと、 C1 泣いている四の君を D2 なだめた。

- 採点方法 各要素単独採点 ■ 字数 指定なし。

「ポイント」

要素A【2点】自分たちは結ばれる

要素B【1点】運命なのだと

要素C【1点】泣いている四の君を

要素D【2点】なだめた。

第三問 漢文 採点基準

(一)

a、水でないものはないのである (2点)

※文末の「也」の訳出(～である)は不問とする。

b、舟が川に浮かぶ ようなものだ (2点)

1点

1点

※「舟の河に在る」の訳出

※「如」の訳出

c、まことに もったもである (2点)

1点

1点

※「固より」の意味

※「宣なり」の訳

(二) 一滴の油を水の中に注いでも、決して混ざることがない こと。(6点)

3点

3点

※「一点の油を水中に注げば」に相当する説明

※「未だ嘗て混を成さざるなり」に相当する説明

※文末の「～こと」「～ということ」の有無は不問

(三) 君子と小人とは 本性が異なるがゆえに 決して相いれない ということ。(8点)

2点

3点

3点

※「人について」が何を指しているかの明示

※「其の性を異とするが故に」の要素

※「相容れざるなり」の要素

※文末の「～ということ」の有無は不問

(四) 文科のみ

君子の中にも差異はあるとはいえ、 少なくとも小人とは本性を異とするのであり、

3点

3点

君子同士が優劣を争ったりするのは間違っている ということ。

4点

※「君子にも寛裕有り、強毅有り、狷介和厚の同じからざる有り」の要素

※「其の小人と居れば則ち必ず君子は君子と相ひ合す。皆小人を拒むは、其の性則ち然らしむるなり」の要素

※「而るに今、水と水と或るいは反眼し、相ひ視て曰はく、『彼は一杯の水なり。我は江海の水なり。彼安づくんぞ我に及よぼんや』のように君子同士なのに「油を以て之を視んと」としていることにたいして 言いたいことの要素

※文末の「～ということ」の有無は不問とする

第四問 (20点満点)

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文(章)の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

問一

■形式上の不備

- ・文末表現は要素D参照

基準 配点5点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

ギリシア神話や旧約聖書に登場する神殿の巫女たちや予言者たちが、

B

まだ年若い人々の将来迎

C

る運命を 予言していること。

■採点方法…各要素単独採点

■要素「ギリシア神話や旧約聖書に登場する神殿の巫女たちや予言者たちが」…2点

■要素B「まだ年若い人々の将来迎る運命を」…2点

■要素C「予言している」…1点

■要素D…文末表現は「……こと。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素D参照

基準 配点5点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

生命の稚い日からすでに自分の中に含まれていた運命を否認なしに自覚する時、人は自らの死を従容として受け入れることができるだろうから。

B

- 採点方法…各要素単独採点

- 要素A 「生命の稚い日からすでに自分の中に含まれていた運命を否認なしに自覚する時」…3点

- 要素B 「人は自らの死を従容として受け入れることができるだろう」…2点

- 要素D…文末表現は「……から。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素D参照

基準 配点5点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A  
それがいかに困難だとしても、  
B  
在りのままの人間として生きることを阻害する自らの中の軽薄  
C  
さを消去すべく 生きねばならないということ。

- 採点方法…各要素単独採点

- 要素A 「それがいかに困難だとしても」…1点

- 要素B 「在りのままの人間として生きることを阻害する自らの中の軽薄さを消去すべく」…3点

- 要素C 「生きねばならない」…1点

- 要素D 文末表現は「……こと。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素D参照

基準 配点5

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

人生の道のりを、稚い日から自分の中に含まれていた運命の露われと見るとき、その途上に起

B

C

きた出来事すべてが 必然に思えるということ。

- 採点方法…各要素単独採点

- 要素A 「人生の道のりを、稚い日から自分の中に含まれていた運命の露われと見るとき」…2点

- 要素B 「その途上に起きた出来事すべてが」…1点

- 要素C 「必然に思える」…2点

- 要素D 文末表現は「……こと。」という形が原則。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。